

国が公立病院改革ガイドラインを策定

議員 公立病院の経営環境や医療提供体制が厳しい現状において、必要な医療を安定的かつ継続的に提供していくため、平

成十九年十二月に総務省が公立病院改革ガイドライン(指針)を示した。このガイドラインにはどのような方策が示されて

いるのか伺いたい。市民病院事務局長 ①経営の効率化、②再編・ネットワーク化、③経営形態の見直しの三点が掲げられている。

議員 このガイドラインを受け、各自治体は経営効率化の数値目標を掲げた改革プランを策定することとなる。この内容を

平塚市民病院将来構想(案)へどのように反映するのか伺いたい。市民病院事務局長 医療の専門家等を構成員とする平塚市民病院将来構想策定委員会から平成十九年三月に答申された平塚市民病院将来構想(案)に公立病院改革ガイドラインの内容を加味して検討中である。この将来構

想(案)には、病棟の新・改築計画や救命救急医療体制の刷新などの新たな機能を盛り込む考えである。がん疾患診療のセンター化とともに、内視鏡治療や放射線治療および外来化学療法を充実させ、地域がん診療連携拠点病院を目指していくことを掲げている。今後は地域の中核病院として、がん診療の体制整備を図って

推進すべきと考えるが見解を聞きたい。市民病院事務局長 がん疾患に対する人々の意識が高まり、居住する地域にかかわらず、等しく適切な医療を受けられる診療体制の整備が重要と認識している。平塚市民病院将来構想(案)では、がん疾患診療のセンター化とともに、内視鏡治療や放射線治療および外来化学療法を充実させ、地域がん診療連携拠点病院を目指していくことを掲げている。今後は地域の

中核病院として、がん診療の体制整備を図って

がん診療の体制整備を図って

がん診療の体制整備を図って



がん診療の体制整備を図って

がん診療の体制整備を図って

がん診療の体制整備を図って

がん診療の体制整備を図って

がん診療の体制整備を図って

がん診療の体制整備を図って

がん診療の体制整備を図って

がん診療の体制整備を図って

平塚市民のこころと命を守る条例 制定後の取り組み聞く

議員 平塚市民のこころと命を守る条例が平成十九年十二月市議会定例会で可決された。条例制定

後、自殺対策に関する本市の取り組みを聞きたい。健康福祉部長 自殺対策に関連する六部一〇課の関係課長で、「自殺対策に係る庁内課長会議」を組織し、市として総合的な自殺対策を推進していくための検討を行っている。会議では、自殺対策に関する国の動向、県や先進自治体での取り組み、市の条例内容など情報の共有化を図り、条例に規定されている自殺対策会議の構成メンバーや所掌事務などについて協議を

議員 自殺対策の推進には、相談体制の充実も必要である。今後の対応を聞きたい。健康福祉部長 自殺の背景にはさまざまな要因が複雑に関係している。そのため、相談窓口の分かりやすい一覧表等を掲載した自殺予防のための市民向けパンフレットを作成し、配布するとともに、相談しやすい体制の整備をさらに推進していきたい。

議員 現代社会において、食に関するさまざまな課題があり、市民一人一人が「食」について考え、判断する力を養うための食育が必要である

議員 一人が「食」について考える。食育に関し、本市ではこれまでにどのような施策を行ってきたのか伺いたい。健康福祉部長 平成十七年十月から平塚市食育推進連絡会議を設置し、庁内関係課において食育関係事業の情報共有化を行ってきた。学校や保育所等における食育推進として「地場産野菜使用推進事業」や「ふれあい給食会」等、生産者と消費者との交流の促進として「親子収穫体験会」や「夏休み子ども農業体験学習」等を行うなど、食育基本法における基本施策別の事業の整理と連携を進めている。

議員 食を取り巻く環境について、本市の現状を

議員 食を取り巻く環境について、本市の現状を

議員 食を取り巻く環境について、本市の現状を

議員 食を取り巻く環境について、本市の現状を

議員 食を取り巻く環境について、本市の現状を

食育のさらなる推進へ 実態調査分析し基本計画に反映

議員 現代社会において、食に関するさまざまな課題があり、市民一人一人が「食」について考え、判断する力を養うための食育が必要である

議員 一人が「食」について考える。食育に関し、本市ではこれまでにどのような施策を行ってきたのか伺いたい。健康福祉部長 平成十七年十月から平塚市食育推進連絡会議を設置し、庁内関係課において食育関係事業の情報共有化を行ってきた。学校や保育所等における食育推進として「地場産野菜使用推進事業」や「ふれあい給食会」等、生産者と消費者との交流の促進として「親子収穫体験会」や「夏休み子ども農業体験学習」等を行うなど、食育基本法における基本施策別の事業の整理と連携を進めている。

議員 食を取り巻く環境について、本市の現状を

議員 食を取り巻く環境について、本市の現状を

議員 食を取り巻く環境について、本市の現状を

議員 食を取り巻く環境について、本市の現状を

議員 食を取り巻く環境について、本市の現状を

議員 食を取り巻く環境について、本市の現状を

児童デイサービス 懸念される事業からの撤退 本市の対策尋ねる

児童デイサービス事業からの撤退が懸念される。今後、制度を利用できなくなる児童数ほどのくらいと想定しているのか。健康福祉部長 十九年度末で当該事業を廃止する予定の事業所は二か所である。これらの事業所の利用登録者は三四人と四人である。

議員 児童デイサービス事業の廃止により、障害がある一部の児童の行き場がなくなってしまうと思うが、本市ではどのような対策を考えているのか伺いたい。健康福祉部長 現在、二十年度のサービスの支給

議員 児童デイサービス事業の廃止により、障害がある一部の児童の行き場がなくなってしまうと思うが、本市ではどのような対策を考えているのか伺いたい。健康福祉部長 現在、二十年度のサービスの支給

議員 児童デイサービス事業の廃止により、障害がある一部の児童の行き場がなくなってしまうと思うが、本市ではどのような対策を考えているのか伺いたい。健康福祉部長 現在、二十年度のサービスの支給

小児弱視の早期発見へ 3歳児健診での検査充実求める

議員 本市では三歳児健診において視覚検査が実施されているが、どのように検査を行っているのか伺いたい。健康福祉部長 本市の視覚検査は、健診の案内通知に同封するスクリーンング調査票により自宅で検査、記入後、健診日に会場で提出することとなっている。その調査票をもとに、検査業務を委託している(財)神奈川県児童医療福祉財団小児療育相談センターが一次検査を

議員 早期発見が重要とされる小児弱視の発見率を高めるため、三歳児健診時に視能訓練士を配置し、高精度の屈折異常測定器を導入している自治体もあると聞く。導入に対する見解を伺いたい。健康福祉部長 本市の三歳児健診は、発育発達、腎臓疾患など健康状態を

議員 早期発見が重要とされる小児弱視の発見率を高めるため、三歳児健診時に視能訓練士を配置し、高精度の屈折異常測定器を導入している自治体もあると聞く。導入に対する見解を伺いたい。健康福祉部長 本市の三歳児健診は、発育発達、腎臓疾患など健康状態を

市議会ホームページを開設しています

- 市議会では、ホームページを開設し、議会のしくみ・概要・日程、議員の構成、質問を行う議員や質問項目等の「発言通告一覧」、議会に提案された「議案等一覧」などについて紹介しています。
 - 「ひらつか議会だより」…PDF版として掲載しています。
 - 会議録検索システム…平成9年5月以降の本会議と臨時会会議録および平成17年3月以降の各常任委員会と平成17年2月以降の議会運営委員会会議録を掲載しています。
- ☆市議会ホームページアドレス
<http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/gikai/>
 (平塚市ホームページからも接続できます)



「のびのびキッズ2歳児教室」